

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

2013年度入社式 松野社長挨拶(要旨) 「三角形の二辺の和は他の一辺より短い」

入社おめでとうございます。グループ 5,000 名を代表して皆さんを心から歓迎します。

当社は創業当初、電子計測器が事業の中心でした。この時培った「計測」の技術が当社の基盤です。経営理念「先端技術を先端で支える」は、「計測」の技術で社会の安心、安全に貢献するという決意です。半導体テストシステム分野で世界 No. 1 の地位を確固たるものにした今では、新規事業にも積極的に取り組んでいます。しかし、「計測」がコアであることに変わりはありません。

Verigy 社を買収して約 2 年、両社の融合は道半ばです。今までのやり方、制度、文化を大きく変えるため、全社運動「ACT2014」を展開しています。テストのシェア向上、周辺事業の拡大、新規事業の育成などを進めているわけですが、皆さんは、高い目標に向かって大きく変わろうと全社でチャレンジしている重要な時期に入社しました。この活気を感じると共に、新しい風を吹き込んでください。

最近、入社前と入社後のイメージのギャップが大きい人が増えたそうです。当社では、会社をよく知り、やりたいことを見つけるためにも研修期間を長めに取り、さまざまな部署を経験してもらいます。その過程で多くの社員と接することになり、こうした人とのつながりがこれからの人生の大きな財産となります。

また、これからは同世代の仲間の他にも、上司、先輩など世代の異なる人たちや、顧客、取引先など立場の異なる人たち、さらには文化や言葉の異なる海外の人たちとコミュニケーションを取る機会が増えます。スマホのアプリや SNS などのツールは便利ですが、Face to Face も大切です。Face to Face は非常に密度の濃い手段ですので、デジタルなツールに頼り切るのではなく、Face to Face のアナログなコミュニケーションも積極的に行ってください。

最後に、「三角形の二辺の和は他の一辺より短い」という話をします。あるゴールを目指すときに、皆さんの世代はどうすれば最短で行けるのかを考えるのに時間を費やす傾向にあるのだそうです。必ずではありませんが、出発点にいつまでもいてスタートが遅れると、最短のルートを使ったとしてもゴールも遅れます。まずは動き出した方が、三角形の二辺を選んだとしても結果的に早くゴールできます。まずはやってみる。失敗してもその経験は糧となり、遠回りした分、視野も広がります。

生活の環境やリズムが変わりますので、心身ともに健康には充分気をつけてください。これからの活躍に大いに期待しています。

以上